

第 10 回プログラミングおよびプログラミング言語ワークショップ (PPL2008)

<http://www.nue.riec.tohoku.ac.jp/ppl2008/>

論文募集

主催: 日本ソフトウェア科学会 プログラミング論研究会

日程: 2008 年 3 月 5 日 (水) ~ 3 月 7 日 (金)

会場: 仙台市 秋保温泉 緑水亭

PPL2008 は、プログラミングおよびプログラミング言語に関する研究者が一堂に会し、最新の研究成果の発表、および新たな研究課題についての討論やアイデア交換等を行うことを目的とした、合宿形式のワークショップです。プログラミングおよびプログラミング言語の理論・設計・実装・処理系などに関する研究発表を、カテゴリ別に幅広く募集します。

カテゴリ 1: 国内外で未発表の論文の発表

カテゴリ 2: 国際会議・学術雑誌等で既発表であるが、国内では未発表の研究の紹介

カテゴリ 3: ショート・ポスター・デモ発表 (既発表・未発表の別を問いません)

カテゴリ 1 (国内外未発表論文) 完成した理論やシステムの研究発表のみならず、萌芽的なアイデアや問題点の提示等も歓迎します。発展途上の研究内容も積極的に採録する方針です (ただし、PPL での発表として相応しくないと判断される場合は、この限りではありません)。また、カテゴリ 1 で発表された研究については、会場での討議や査読コメントをもとにその完成度を高め、将来の学術雑誌・会議等での業績に結び付けることを奨励しています。

カテゴリ 1 で発表された研究のうち、PPL2008 プログラム委員会として優れていると認めるものは、PPL2008 終了後 (2008 年 4 月下旬予定) 「コンピュータソフトウェア」誌 PPL2008 推薦論文としての投稿が可能です。推薦論文は、PPL プログラム委員が引き続き査読を行うことによる、迅速な査読プロセスを特長としています。

カテゴリ 2 (国外既発表論文) 査読付の国際会議または学術雑誌等で既発表であるが、国内では未発表な研究の紹介をする場です。採録決定済みの研究も含みます。PPL への関連をもとに採録を判定いたします。

カテゴリ 3 (ショート・ポスター・デモ発表) 1 件 5 分程度の口頭発表、もしくは、2 時間程度のセッション内でのポスター発表またはデモ発表です。このうち複数の発表形態を組み合わせることが可能です (ただし、口頭発表とポスター発表を組み合わせることはできません)。既発表・未発表の別を問いません。PPL への関連をもとに採録を判定いたします。

投稿・発表申込要領 3 つのカテゴリそれぞれに対して、投稿は以下のように行って下さい。最新の情報は上記 Web ページでご確認下さい。

カテゴリ 1 (国内外未発表論文) 投稿手続きは二段階です。発表申込を行った上で論文提出を行って下さい。

発表申込締切: 2007 年 12 月 25 日 (火)

著者名、所属、論文タイトル、論文概要 (日本語 300 ~ 400 字程度もしくは英語 200 words 程度) をテキスト形式で下記申込先宛にお送り下さい。

論文提出締切: 2008年1月7日(月)

15ページ以内の full paper もしくは 5ページ程度の extended abstract(英語もしくは日本語, PostScript もしくは PDF 形式) を提出して下さい.

採否通知: 2008年1月31日(木)

最終原稿提出締切: 2008年2月12日(火)

カテゴリ 1 への投稿論文と類似の論文を, 他の会議(予稿集を出版するもの)・論文誌などに同時投稿する場合は, 査読の有無に関わらず, その旨を発表申込および論文提出の際に明記して下さい. PPL では同時投稿の事実のみをもって論文を不採録とすることはありませんが, 採否の決定に利用する場合があります(他の会議との重複を避けるため, 発表内容についての条件付採録とすることもあります).

カテゴリ 2 (国外既発表論文)

発表申込締切: 2008年2月4日(月)

原論文(ページ数不問)と1ページの abstract とを PostScript もしくは PDF の形式で, 著者名, 所属, 論文タイトル, 原論文の出典(発表会議名, 掲載済/予定の別等)と併せて下記申込先宛にお送り下さい.

採否通知: 2008年2月12日(火)

最終原稿提出締切: 2008年2月18日(月)

カテゴリ 3 (ショート・ポスター・デモ発表)

発表申込締切: 2008年2月4日(月)

著者名, 所属, 論文タイトル, 論文概要(200~300字程度), 希望する発表形態(ショート・ポスター・デモの別), をテキスト形式で下記申込先宛にお送り下さい.

採否通知: 2008年2月12日(火)

投稿・発表申込先 ppl2008-submit@kb.ecei.tohoku.ac.jp

問い合わせ先 ppl2008-oc@nue.riec.tohoku.ac.jp

プログラム委員会 Reynald Affeldt (独立行政法人 産業技術総合研究所), 大島 芳樹 (Viewpoints Research Institute), 勝股 審也 (京都大学), 亀山 幸義 (筑波大学), 権藤 克彦 (東京工業大学), 笹田 耕一 (東京大学), 篠埜 功 (東北大学), 首藤 一幸 (ウタゴエ) [プログラム共同委員長], 住井 英二郎 (東北大学) [プログラム共同委員長], 立石 孝彰 (日本アイ・ビー・エム), 千代 英一郎 (日立製作所), 中島 震 (国立情報学研究所), 中野 圭介 (東京大学), 八杉 昌宏 (京都大学), 山形 頼之 (独立行政法人 産業技術総合研究所), 横山 大作 (東京大学)

実行委員会 青戸 等人 (東北大学) [実行委員長], 篠埜 功 (東北大学), 首藤 一幸 (ウタゴエ) [プログラム共同委員長], 住井 英二郎 (東北大学) [プログラム共同委員長]